

# 奥羽大学報



オープンキャンパス (薬草園)

## 目次

第15回奥羽大学歯学部歯科医学教育者ワークショップ/オープンキャンパス…	2
(歯)模擬患者養成講習会ならびにファシリテータ養成講習会/ 平成20年度入学試験日程 ……………	3
平成19年度第1回奥羽大学歯学部 OSCE 評価者養成ワークショップ/ 慶熙大学との歯科大学生親善体育大会……………	4
第39回歯科学学生総合体育大会 ……………	5
(歯)スチューデントクリニシャン・リサーチ・プログラム日本代表選抜大会/ 学位記授与式 ……………	6
平成19年度大学院第2学年次、第3学年次研究計画および経過発表会/ 平成19年度科学研究費補助金若手研究(スタートアップ) ……………	7
第15回奥羽祭のお知らせ ……………	8
附属病院……………	9
セクシュアル・ハラスメント防止委員紹介 ……………	10
国際学会……………	11
公開講座特集……………	13
大学図書館連絡協議会総会/私が薦める一冊の本 ……………	15
余滴/同窓会……………	16
同窓生のひろば ……………	17
学校法人晴川学舎平成18年度決算報告……………	19
郡山自転車ロマン紀行(第3回) ……………	22
慶弔……………	23
行事予定……………	24

# 115

## 第15回奥羽大学歯学部歯科医学 教育者ワークショップ

平成19年8月4日(土)、5日(日)の両日 PBL を導入している昭和大学から、チーフタスクフォースに岡野友宏歯学部附属病院院長、タスクフォースに片岡竜太講師、中島 功講師、伊佐津克彦助教、浅里 仁助教をお迎えして、奥羽大学歯学部における PBL 実践をテーマに開催した。

PBL テュートリアル教育については、過去に FD 委員会主催で学外講師を招いて数回講演会を開催してきたが、今回は、実際に PBL テュートリアル体験・PBL シナリオ作成・PBL テュートリアルファシリテータ養成を目的とした。ワークショップ参加者は24名、見学者8名の計32名の出席があった。開講式後、鎌田政善教授より本学歯学部の教育の特徴と PBL テュートリアルについて講演があった。それを導入して成果をあげている岐阜大学の PBL テュートリアルについてビデオ学習を行った。

その後グループ別に対象学年、対象ユニット、シナリオのねらい、学生が興味を持てるようなシナリオ作成を目標に行った。Aグループは「う蝕の進行」、Bグループは「歯周病と糖尿病」、Cグループは「歯の発生」、Dグループは「口唇・口蓋裂」のシナリオで、活発な質疑応答があった。各シナリオは4回のブラッシュアップを重ね最終シナリオを作成した。本学歯学部への本格的な PBL 導入については人員、シナリオ作成とそのブラッシュアップ、ファシリテータの育成など解決しなければならない問題があるが、PBL テュートリアルの導入は必須と思われる。

補足：PBL (Problem Based Learning) はカナダ McMaster 大学ではじめられ、問題解決型授業と訳されている。教員が数名の学生に課題を出し、学生が自主的に学習して授業の準備をする。学生同士の質疑応答で授業が進み、ファシリテータと呼ばれる助言者が1名加わる。なお、本学歯学部第5学年を対象に本年7月から、また一部の講座ではすでに PBL を導入している。

(浜田 節男)



## オープンキャンパス

今年度は、オープンキャンパスを5月から8月まで毎月開催した。

これまでの開催では、出だしの5、6月こそ参加者の数が少なかったものの、7月と8月はご父兄を伴った多数の高校生たちで賑わった。

学食体験、キャンパス見学、あるいは模擬授業などが行われたが、なかでも実習体験は非常に好評であり、歯医者さんや薬剤師さんの体験ができて感動したという声が多数寄せられた。さらに、近くに住んでいながら大学に来たのは初めてで、キャンパスの広さと美しさに驚いた、まだ高2なので来年も是非来たい、などの感想も聞かれた。

今後、9月と10月にも開催する予定であり、更なる参加者を期待したい。

(榊原 直文)



**(歯) 模擬患者養成講習会ならびに  
ファシリテータ養成講習会**

広島大学の小川哲次教授を講師に迎え、上記講習会が開催された。8月24日(金)の模擬患者養成講習会は、約30名の模擬患者候補の皆さんを対象として「模擬患者とは、模擬患者の役割」と題する講演が行われた。天野義和歯学部長はじめ OSCE の準備に関わるメンバーを中心とする学内スタッフも多数参加し、会場となった第4講義室に立ち見ができるほどの盛況であった。模擬患者の活動内容、広島大学における模擬患者を活用した教育や海外での実態などが紹介され、模擬患者候補者の皆さんがこれから行うべき準備を明確に

示していただいたばかりでなく、学内スタッフにとっても非常に興味深い内容であった。

翌25日(土)に臨床講義室で行われたファシリテータ養成講習会は、小川教授による基調講演の後、18名の歯学部教員と3名の模擬患者が3つのグループに分かれ、ワークショップ形式で進められた。模擬患者さんの生の声を参考にしながら医療面接のシナリオをブラッシュアップするというテーマに、参加者は皆、熱心に取り組んでいた。また各グループのロールプレイに対して小川教授から示唆に富んだコメントをいただき、これからの本学における臨床教育の充実にとって非常に有意義な講習会となった。

(山森 徹雄)



**平成20年度入学試験日程**

学 部		歯 学 部			薬 学 部		
区 分		出願期間	試験日	合格者発表	出願期間	試験日	合格者発表
推薦入学		11/1(木)~ 11/9(金)	11/11(日)	11/13(火)	11/1(木)~ 11/9(金)	11/11(日)	11/13(火)
一般選抜入学	一期試験	1/7(月)~ 2/5(火)	2/7(木)	2/8(金)	1/7(月)~ 2/1(金)	2/6(水)	2/8(金)
	二期試験	2/15(金)~ 2/29(金)	3/2(日)	3/3(月)	2/18(月)~ 2/28(木)	3/3(月)	3/4(火)



## 平成19年度第1回奥羽大学歯学部 OSCE 評価者養成ワークショップ

9月8日(土)、9日(日)に奥羽大学附属病院棟において OSCE 評価者養成ワークショップが開催された。開講式では天野義和歯学部長の挨拶に続いて、医療系大学間共用試験実施評価機構の江藤一洋副理事長より機構入会をめざして大学が一丸となって精進して頂きたい旨の挨拶を頂いた。

今回は機構から歯学系 OSCE の FD 委員の先生方7名（俣木志朗 東京医科歯科大学教授、大川周二 明海大学歯学部教授、葛西一貴 日本大学松戸歯学部教授、川上智史 北海道医療大学歯学部教授、関本恒夫 日本歯科大学新潟生命歯学部教授、奈良陽一郎 日本歯科大学生命歯学部教授、北原和樹 日本歯科大学生命歯学部講師）を派遣して頂き、タスクフォースとして指導をして頂いた。

今回のワークショップでは参加者38名を6グループに分け、6課題の課題文・評価シート・評価マニュアルの作成を行い、それらを用い OSCE を実施した後、結果を分析して総合的にブラッシュアップを行うといった内容で進められた。

各グループともしっかりとプロダクトを完成し、討議も活発に行われたので FD 委員の先生方からはお褒めの言葉を頂いたが、今後の第2回、3回のワークショップでは運営面をさらに充実していかねばならないことを痛感したワークショップであった。

(鎌田 政善)



## 慶熙大学との歯科大学学生 親善体育大会

8月9日(木)から12日(日)の4日間、姉妹校である韓国慶熙大学校歯科大学の皆さん9名を本学にお迎えし、昨年と同様にバスケットボールを種目として親善体育大会が開催された。初日は、本学を表敬訪問ののち、ビューホテルアネックスに移動して歓迎式が行われた。歓迎式では両校教員・学生の紹介が行われ、また学友会会長の小島杏里さんによる日本舞踊では、雅な舞に出席者一同大変感激した。

翌10日(金)は10時30分より、本学体育館を会場に競技が開始された。今年の夏は大変暑さが厳しく、連日37度近くまで気温が上がり蒸し風呂の様な体育館の中、両校学生の気合いが入った接戦となった。結果は辛くも本学が勝利することができた。14時よりオープン戦が行われ、OB による華麗なシュートも見ることができた。夜になり交流会、その後のバスケットボール部 OB 会主催歓迎会と郡山の夜を満喫していただいた。11日(土)は、大学からバスを出していただき会津観光に出かけた。会津武家屋敷での昼食、末廣酒造見学や只見川山峡下りと充実した内容だった。その日は磐梯熱海温泉にある本学保養施設「無垢苑」にて送別会を行い、夜が更けるまでお互いの友情を深めることができた。帰路につく12日(日)は、お盆の帰省と重なり高速道路の渋滞があったが、早めに出発したので余裕を持って仙台空港までお送りすることができた。

慶熙大学からの提案と本学関係者のご理解で今年から従来3日間の交流を4日間に延長することとなった。御高配を賜った父兄会、同窓会、バスケットボール部 OB 会ならびに大学関係の皆様方に厚く御礼申し上げる。

(バスケットボール部顧問 釜田 朗)



第39回歯科学生総合体育大会

結団式

今年も恒例の歯学体結団式が7月23日(月)に行われ、大会へ参加する冬季部門3部門、夏季部門13部門、参加者にして約240人が集まった。学友会会長小島杏里さん(歯4年)が代表で全クラブの意気がこもった選手宣誓を行った。

今大会は松本歯科大学が事務主管になっており試合会場のほとんどが自然豊かな長野県で行われる。いい環境の中で選手達のハツラツとしたプレーを期待したい。(白土 孝)



結果

総合25位 デンタルポイント14.5ポイント

○バスケットボール部

〔長野市ホワイトリング〕 総合5位

○柔道部〔松本市梓川体育館〕

個人戦無差別級 勝田 拓磨(歯1年) 優勝

○陸上競技部〔松本平広域公園体育館〕

清水 峰太(歯3年) 3000m SC 2位  
5000m 5位

河本 隆大(歯2年) 3000m SC 4位  
1500m 7位 5000m 8位  
城間 千春(歯3年) 100m 1位  
走り幅跳び 2位  
薄 壮一郎(歯2年) 800m 7位  
5000m 10位

○アーチェリー部〔富岡総合競技場〕

上野 理恵(歯1年) 新人戦女子 1位  
伊藤 悠(歯2年) 新人戦男子 4位  
池田 敏和(歯2年) シングル 5位  
柴原栄一郎(歯5年) シングル 10位  
男子団体 2位

○ゴルフ部〔軽井沢72ゴルフ〕

男子総合 7位 女子総合 6位

○サッカー部

〔千曲川リバーフロントスポーツガーデン〕

一試合目 奥羽大学2-2北海道大学  
PK (5-4)

二試合目 奥羽大学2-3松本歯科

○卓球部〔新潟市体育館〕

シングルス 金本 芳大(歯5年) ベスト8  
重本 心平(歯2年) ベスト8



陸上競技部



アーチェリー部

### (歯) スチューデントクリニシャン・リサーチ・プログラム日本代表選抜大会

第13回スチューデントクリニシャン・リサーチ・プログラム日本代表選抜大会が、8月22日(水)に東京市ヶ谷の新歯科医師会館で開催された。この大会は全国の歯学部学生が研究活動の成果を英語で発表するもので、代表者になると米国歯科医師会の総会に参加することができる。本学からは、5年生の黒田真美さんが参加した。彼女は昨年夏の夏に国際歯科研究学会ハットン賞選考会の日本代表選抜大会に出場し、日本代表に選出されている。今回の選抜大会でも完璧な英語で発表をおこない、質疑応答に対しても何ら臆することのない受け答えであった。その結果、入賞を果たすことが出来た。発表内容は、口腔カンジダ症の新たな治療方法の確立に関するものである。黒田さんは第5学年の病院実習をきちんとこなしながら、自分で時間をやり繰りしてこのような見事な学術発表をおこなった。昨年からの2年間に亘る国際的レベルでの研究活動は、黒田さんにとって世界で活躍できる歯科医師になるための貴重な経験になったことと思う。

(清浦 有祐)



表彰式にて

### 学位記授与式

7月25日(水)学位記授与式が執り行われ、歯学部専攻生原元信貴氏に博士(歯学)の学位が授与された。原元氏は「デキサメサゾンによる副甲状腺ホルモン受容体遺伝子発現の骨芽細胞における促進」と題する論文を提出し、審査により学位授与が認められたものだった。式では清水秋雄学長より、高齢化等による社会情勢の変化を読み取り、今後も研究を続けてほしいとのほなむけの言葉があった。

(白土 孝)





**平成19年度大学院第2学年次、  
第3学年次研究計画および経過発表会**

平成19年度の大学院生の研究計画・経過発表会が、8月23日(木)午後1時から4時30分まで病院棟5階の臨床講義室を会場に行われた。

本年度は、昨年に引き続き研究活動の活性化の一環として3年目の大学院生の研究経過の発表に加えて、2年生の研究計画の発表も行われた。2年生では研究テーマと内容、今後の研究計画を中心にした報告を、また3年生では現在進めている研究内容・結果について報告し、それらに対して大学院教員が種々のアドバイスをし、今後の研究遂行に役立ててもらふことを目的とした。

今回の発表会には、大学院教員をはじめ各講座の教員、大学院生のべ100名近い多数の参加があった。発表会は研究科長の開会の挨拶で始まり、大学院専任教員の新田敏正教授、嶋倉道郎教授の司会進行により、初めに2年生3名の研究計画の発表が、また引き続いて3年生11名の研究経過発表が各専攻科目の領域ごとに行われた。それぞれの研究計画報告・研究経過報告に対しては、参加者の教員から研究(実験)方法や計画に対する活発な質疑やアドバイスがあり、熱心に討論が行われた。今回の発表会は2年生においては研究の早期からの取り組み、3年生においては研究の質の向上といった大学院研究活動の活性化に繋がる有意義なものとなった。

(鈴木 康生)



**平成19年度科学研究費補助金  
若手研究(スタートアップ)**

平成19年度科学研究費補助金 若手研究(スタートアップ)の交付が内定し、本学では1名、口腔病態解析制御学講座の鄧 雪助手が採択された。

若手研究(スタートアップ)とは、応募資格に年齢制限を設けず、研究者の職に就いたばかりの者が早い段階から自立して研究に専念できるよう、昨年から新たに導入された公募種目であり、平成18年4月1日以降に研究者として初めて採用された者が応募できる。

また、この研究種目に採択される研究計画は「将来の発展が期待できる優れた着想を持つ」と認められるものであり、応募総額は年間150万円以下、研究期間は2年間である。

今年度は本学から歯学部助手12名(歯科補綴学講座11名、口腔病態解析制御学講座1名)、薬学部助手7名、合計19件の研究課題の申請を行った。

交付内定結果は下記の通りである。

(設楽 民雄)

(単位:円)

研究種目	区分	研究代表者		平成19年度	平成20年度
		所属: 職	氏名	交付予定額 (直接経費)	交付予定額 (直接経費)
(スタートアップ) 若手研究	新規	歯学部: 助手	鄧 雪	1,320,000	1,350,000
	研究課題名				
歯周病原細菌が惹起する肺炎と動脈硬化に対する骨吸収抑制薬の炎症増強作用の解析					

## 第15回 奥羽祭のお知らせ

テーマ：NEW WAVE

“笑い”と“楽しさ”いっぱいの日2日間

「新たなスタートを切った奥羽祭それぞれの未来に向かって個性を出し合おう！」

【NEW WAVE】をテーマに開催されます。注目イベントはなんと言っても、モンキーマジックライブ（有料）、ホリとななめ45°によるお笑いライブ（無料）など、多彩なイベントが盛り沢山。また今年も好評につき昨年に引き続き豪華商品目白押しの大ビンゴ大会を実施いたします。

### ☆☆☆ 日 程 ☆☆☆

10月13日(土)

時間	内容
10:00~16:30	模擬店・室内展示
10:00~10:45	チョコットライブ
11:00~12:45	うまい店コンテスト
13:00~15:15	公開講座 「かむことと健康について」 鈴木 康生 歯学部教授 「健康は良き自然環境から」 野沢 幸平 薬学部教授
13:00~14:00	○×クイズ
14:30~15:30	お笑いライブ（無料） ホリ・ななめ45°
18:00~20:00	本祭 ～パフォーマンス コンテスト～

10月14日(日)

時間	内容
10:00~16:30	室内展示・模擬店
10:00~11:00	絵心コンテスト
11:30~12:30	巨大ジェンガ
13:00~15:00	進学相談会
14:00~15:30	モンキーマジックライブ (有料)
15:45~16:15	大ビンゴ大会

※14日(日)14:00~のモンキーマジックライブはチケットが必要です。

チケット購入先 大学内協立医療売店・グッディーズ

チケットぴあ TEL 0570-02-9999 Pコード 610-667

問 合 せ 奥羽大学学友会 024-922-9534



## 附属病院

### 附属病院外来診療室をリニューアル

附属病院では6月から進めていた外来診療室の歯科用ユニット取替更新・改修工事が8月29日(水)に無事完工した。装いも新たに、矯正・小児歯科診療室、総合歯科第一、第二診療室がオープンした。各診療室とも中央の通路沿いにセンターキャビネットを配置し、パーテーションで6つのエリアに分けした。今回の改修では、矯正・小児歯科診療室で26台、総合歯科第一診療室と第二診療室で67台のユニットを更新した。これまでより台数は減少したが、その分、ユニット間の距離を255cmと広く取ることができた。小児歯科では水平診療用に特注の可撤性補助板を用意し、矯正歯科ではセファロの診断結果をチェ

アーサイドで説明できるシステムを導入するなど、幾つかの工夫が試みられた。

診療室は機能的であることに加えて、明るく、カラフルな歯科用ユニットが映える環境となった。特に、小児歯科と矯正歯科は同じフロアで診療できるようにした。このことは、子供さんが診療室を渡り歩かなくともよく、それぞれの担当医とその場で話し合える利点があり、学生教育にも効果的である。一方、総合歯科は保存系、補綴系の一般診療に加え、歯周外科、インプラント関連手術や口腔外科の一部の診療を同一フロアで行うことができる。一般臨床医の育成にとってこの上ない環境といえる。この素晴らしい臨床教育の場から多くの優秀な歯科医が育つことを願っている。

(清野 和夫)



総合歯科

矯正・小児歯科診療室

### 禁煙支援外来の開設

「受動喫煙」の防止を定めた健康増進法が2003年5月に施行されて4年が経過した。口は「たばこの煙」を吸い込む入口であり、歯・口腔の健康の保持・増進を推進する立場にある保健医療従事者として、口腔のみならず、全身の健康や受動喫煙の害に考慮した禁煙支援に取り組んで行かなければならない。このような中、本学歯学部附属病院では今年8月1日(水)から病院2階予診科において禁煙支援外来を開設した。主に禁煙に関する知識の提供、禁煙に関わる相談などで禁煙支援を実施するので、ご利用いただきたい。

(齋藤 高弘)

### 歯科医師臨床研修施設見学・説明会

平成20年度歯科医師臨床研修施設見学・説明会が平成19年7月31日(火)と8月7日(火)の両日開催された。13時30分から病院棟5階臨床講義室において高橋臨床研修指導医連絡会委員長から、平成20年度のプログラムの概要について配布資料とスライドにより詳細な説明があった。来年度の特徴として、8か月間連続で協力型施設での研修を実施する地域医療長期研修プログラムが定員5名で新設されることが告げられた。また、本院の特徴である保険医登録までの4月中に実施される研修セミナーやシミュレーション実習、7月の協力型施設への派遣前の客観的臨床能力試験について紹介がなされた。

参加者は1回目が22名であり、説明会の後5班に分かれ鈴木(史)、佐藤(穂)、川合、金、清野の5名の臨床研修指導医により附属病院の1階から4階までの主要施設と講義棟の臨床研修室、および中央棟の図書館、個人閲覧室、シミュレーション室等、説明を加えながら施設見学を実施した。

2回目は6名で3班に分かれ、相澤、松山、田代の3名の臨床研修指導医により施設見学を実施した。なお、参加者の内訳は本学出身者は3名であり、25名は他大学出身者であった。

(清野 晃孝)

### セクシュアル・ハラスメント

#### 防止委員紹介

平成19年度のセクシュアル・ハラスメント防止委員会の委員を紹介する。昨年から引き続き2期目を務める9人の委員に加えて、新しく5人の委員が選任された。委員の任期は平成21年3月までの2年間である。これらの委員は相談員を兼ねているので、相談を希望される方は委員に直接連絡をとられるか、または事務局へご相談いただきたい。

セクシュアル・ハラスメントでは、何気ないつもりで行った性的言動が相手を深く傷つけることになり、傷つけられた相手は勉学や仕事を手につかない状態に追い込まれてしまう。医療人である奥羽大学の学生・教職員にとって、相手を思いやる心は最も大事なものである。相手の立場に立って考えれば、セクシュアル・ハラスメントがいかにか嫌なものかわかるはずである。相手を思いやる心を忘れず行動することが、セクシュアル・ハラスメントの防止にもつながって行く。今年度もセクシュアル・ハラスメント防止に向けた各位の協力をお願いしたい。

(久野 弘武)

セクシュアル・ハラスメント防止委員名簿 平成19年4月現在

氏名	所属	内線電話	所在	
久野 弘武	歯学部	2527	附属病院5階	2期
車田 文雄	歯学部	3532	基礎棟5階	新任
松原 宏明	歯学部	5349	1号館3階	2期
遊佐 淳子	歯学部	3421	基礎棟4階	2期
渋谷 洋子	歯学部	2564	附属病院5階	新任
森下 浩江	歯学部	2254	附属病院2階	新任
高田 芳伸	薬学部	7418	5号館4階	2期
高橋 朋子	薬学部	7514	5号館5階	2期
阿部 賢志	薬学部	7416	5号館4階	2期
志村 紀子	薬学部	7624	5号館6階	2期
坂本 新一	総務部	8112	記念講堂1階	新任
白土 孝	学事部	8142	記念講堂1階	2期
黒田よし子	図書館	5114	図書館	2期
渡部 敏恵	看護部	2451	附属病院4階	新任

【事務局】 総務部総務課 担当：佐藤 安宏(内線8116)  
TEL・FAX 024 (991) 7816  
E-mail: ohu-sekudara@juno.ocn.ne.jp

## 国際学会

### 第19回国際心臓研究学会世界大会に 出席して

第19回国際心臓研究学会世界大会（会長：Roberto Ferrari、フェッラーラ大学）は、各地域部会（ヨーロッパ、北米、日本）にひき続いて今年6月イタリアのボローニャで開催された。

3年ごとに開かれることになっている本学会では、世界各地から心臓、血管、代謝などの研究者、医師などが参加して基礎から臨床に至る広汎なテーマについて最新の研究成果が発表される。今回の世界大会では、“Cell to Man to Society”という概念のもとにこれまでになく臨床的事項を重視して基礎と臨床の研究者との橋渡しに力が注がれ、5つの総会、56のフロンティアシンポジウム、4つのイブニングレクチャーなどを含む様々なプログラムが生まれ、参加者は予想をはるかに上回る2,000人以上に達した。私たちのグループは“Functional and morphological changes in vessels of hypertriglyceridemic rabbits with normocholesterolemia”という演題が採択され遺伝性高中性脂肪家兎に関する実験結果を紹介した。

柱廊が美しいイタリア中部の町ボローニャには、1088年に始まった世界最古の大学がある。最初の大学棟となったアルキジナジオ館は、講堂や列柱廊の壁、天井などが歴代教授の銘文や学生の名前で埋め尽くされ、その歴史を物語っている。ここは世界初の人体解剖講義がおこなわれた所であり、1637年完成の解剖学大階段教室を見学する機会があった。床、壁、天井とも全て木で仕上げられた教室の壁面には古代の有名な医者やボローニャ大学の著名な医学者の胸像が飾られ、天井面にはアポロ神を擁した星座が表現されている。教壇には天蓋がかけられ、その両脇には“皮を剥がれた人”といわれる二つの立像がある。最先端の研究が報告されている学会の合間に、厳粛な雰囲気の中で解剖台

を取り囲んだ講義がおこなわれていた中世の大学に思いを馳せたひとときであった。

（石幡 明）



### 国際光工学会主催

#### Optics + Photonics 2007

私は、薬学部に着任して以来、デジタル観測装置等で得られた時間的もしくは空間的に離散的かつ限られた標本値を用いて、観測対象の全体像を近似的に推定する研究を行っている。現在、幾つかの自然な前提条件の下に、非線形推定法を含むあらゆる他の推定法に対して近似性能でおとらない最適離散内挿近似理論の研究を進めている。

従来の理論では、時間軸を分割する小さな区間毎に独立に定義された誤差尺度の上限値で近似性能を比較した場合についてのみおとらない事を証明できていたのに対して、今回、有限長かつ連続であれば如何なる誤差尺度の上限値で近似性能を比較した場合であってもおとらない事が数学的に証明された理論を構築した。

また、上記理論を応用して、所与の非斉次線型偏微分方程式と初期条件の両方を、所与の離散点において同時に満たすことが保証された数値解法の理論を、1変数の場合について構築した。

これらの研究成果を、8月26日(日)から30日(木)にかけて米国カリフォルニア州のサンディエゴ国際会議場で開催された、国際光工学会主催の国際会議 Optics+Photonics 2007において発表した。8月26日に行った私の研究発



表に対して、フロリダ大学のマーク・シュマルツ博士より、上記理論の実装に関する質問があり、上記数値解法のソフトウェアを開発中であること等を答えた。また、昨年、一昨年にも私の研究発表を聴講してくれたアリゾナ大学のジェームス・スクール博士とも討論することができ、近似理論に関する最新の知見が得られた。

なお、本研究は科研費（19760261）の助成をうけた。

(木田 雄一)



発表を行い、関連する多くの研究者と交流をはかることができた。中でも WHO（世界保健機関）からの研究者は、現在 WHO 主導で世界規模でのポリオ根絶計画を進めていることもあり、ワクチンウイルスの遺伝子変異やその抑制手法について、非常に高い関心を示してくれた。

ニュルンベルグはドイツ南部のバイエルン州に属し、この州の中ではミュンヘンについて2番目に大きな都市である。中世の画家デューラーを生んだ街として、また、第2次世界大戦後、ナチス戦犯に対する裁判が行われた街としても有名である。石畳が敷かれ、古いお城や教会など中世の面影をそのまま残した情緒ある街並みがとても印象的であった。

(堀江 均)

### 第3回ヨーロッパウイルス学会

(3rd European Congress of Virology)

9月1日(出)から9月5日(水)までの5日間、ドイツのニュルンベルグで開催された第3回ヨーロッパウイルス学会において、研究成果の発表を行った。本学会は3年に一度開催され、ヨーロッパ各国からは勿論のこと、世界中からウイルスの研究に携わる研究者が集まり、1,000件以上もの研究成果が発表された。特にシンポジウムでは、高病原性トリインフルエンザウイルスや HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に関する最新の研究、更にこれらウイルスに対する新型ワクチンの開発など、現在最もホットな話題についての講演があった。学会会場はニュルンベルグ郊外にあり、ホテルのある中心街からは地下鉄で15分ほどの移動を必要とした。

私は「環境中に存在するワクチン由来ポリオウイルスの性状解析とポリオワクチンウイルスの遺伝子変異抑制の試み」と題して研究



## 公開講座特集

第16回奥羽大学公開講座のうち、8月25日(土)と9月8日(土)に開催された4講座の要旨を掲載する。

### 潜在能力を発揮させるマウスガード

歯学部教授 高田 訓

奥羽大学発健康宣言の1時間目は、歯学の立場からスポーツ外傷を予防し運動能力を向上させるマウスガードを題材に講義を行った。現在、ボクシングやアメリカンフットボール、格闘技など、ほとんどのコンタクトスポーツでマウスガードは義務化され普及している。その要因は外傷予防に加え、運動能力を向上させる効果が証明されたためである。潜在能力を引き出すためには、口腔環境を考慮し、スポーツの種目や競技内容に適したオーダーメイドのマウスガードが効果的である。

講義では、筋力測定の実験で背筋力が2.1%、握力は3.9%増加し、反応時間は0.07秒短縮することなどを示した。また、石膏模型の破折試験では、通常120gで破折する模型が厚さ2mmのマウスガードにより、約9kgの衝撃に耐えるなどの結果を示した。さらに運動中の作用には、瞬間的に生じる強い噛みしめから歯を守り、持続的な咬合により頸部や頭部を安定させ、脳震盪を軽減させる効果もある。一方、従来の既製品は簡便であるが、外れやすく、しゃべりづらいなどの欠点があった。オーダーメイドの場合、個々の歯列模型にプレス器でシートを圧接して作る。そのため吸盤の作用でフィットし、外れづらい。発音や発語の明瞭度検査においても明瞭度の低下は1.5%のみであった。

本県におけるマウスガードの普及率は他の地域に比べて低いのが現状である。今回の公開講座は、マウスガードの普及とともに歯学とスポーツを関連づける健康宣言であった。

### 男性不妊症の現状と将来

薬学部教授 押尾 茂

不妊は、カップルの10~15%があてはまる一般的な病気で、その原因は男女双方に同じ割合にある。不妊症は「避妊せずに通常に夫婦関係を継続するにもかかわらず、2年以上妊娠しない状態」と定義されており、患者数の推計では、99年の28万5千人に対して03年には46万6千人と増加しているのが現実である。

不妊症の治療目標は、あくまで「産子を得る」ことなので、夫婦を単位とした治療の継続が重要である。さらに、患者さんは子供がいないという個人的な問題以外には、社会生活上は何ら困難や不快感を持っていないので、検査・治療にあたって、通常の病気の治療にも増して、非侵襲的で副作用が最小限であることが求められる。したがって、主に行われるのは、問視触診に加えて精液検査と血液検査となる。男性不妊症の病因としては60~70%を精液性状の異常が占め、その他、精索静脈瘤30%、精路通過障害10%、性機能障害(ED)1%程度と分類される。治療法として、精液の異常、性機能障害に対しては薬物治療が、精索静脈瘤や精路通過障害に対しては手術が主として行われる。また、生殖補助医療技術と総称される、人工授精、体外受精、ICSI法等も男性不妊の治療法として重要な位置を占めている。

本分野の臨床医学上の知見は、基礎生殖生物学と臨床医学の協同研究により急速な発展を遂げてきたが、今後は、技術的な進歩は進歩として、生命倫理的な面からの考察も重要になってくると考えられる。

## 福島近県の薬用・食用植物と有毒植物

薬学部教授 永井 正博

生薬を分類すれば、漢方で使う生薬とそれ以外の生薬、すなわち民間薬になる。

日本には三大民間薬といわれる生薬がある。ドクダミ、センブリ、ゲンノショウコがそれである。そのうち、ドクダミは民間薬として最も著名なもので、緩下薬、利尿薬、高血圧薬として飲用される。センブリはリンドウ科植物で、苦味健胃薬（食欲増進剤）として使用され、日本薬局方に収載される民間薬中の最高傑作である。

福島近県の薬用・食用植物と有毒植物に目を転ずれば、まず福島県に多数分布するメグスリノキ（目薬の木、カエデ科の樹木）を挙げることができる。その葉を煎じて洗眼に使う一方、樹皮や小枝を煎じて、肝臓の薬として飲用され、健康食品である。キハダはミカン科の樹木で、幹の表皮を取り除くと、中は真黄色をしている。樹皮をオウバク（黄柏）と称し、漢方薬として使う。会津地方で採れる黄柏は古来有名である。田の畔や畑で見かけるサトイモ科の多年草カラスビシャクの塊茎を半夏（ハンゲ）といい、鎮吐剤としての使用が顕著な漢方生薬である。オオバギボウシは山地に生えるユリ科の植物で、春から夏に若い葉を採って、ウルイと称し、おひたしなどに食用される。しかし、毎年のようにウルイと誤認し、バイケイソウの類を採集する人がおり、食中毒が起こる。このバイケイソウ類の毒成分も強力だが、強心配糖体を含むフクジュソウ、ジギタリス、スズランもかなり有毒で、植物は見かけによらない。

## 福島近県を起源とする伝統薬（漢方薬を含む）とその構成する生薬

薬学部准教授 藤井 祐一

福島近県には、日本を代表する伝統薬がある。「夜泣き、疳の虫」に宇津救命丸（栃木県）があり、人参（オタネニンジン）を始めとする4植物性生薬、麝香や牛黄など鎮静作用を有する4動物性生薬が含有されている。「ゴホン」と言えばの龍角散（秋田県）は、鎮咳作用を有する杏仁、桔梗、甘草と去痰作用を有するセネガからなり、至適な配合比率と和洋生薬の配合となっている。また胃腸薬では、ホシ胃腸薬（福島県いわき市）と太田胃散（栃木県）がある。両胃腸薬とも桂皮、ゲンチアナを中心に構成され、その他の配合生薬の成分である苦味配糖体や精油成分の差異が、これらの胃腸薬の特徴を出している。一方、越中（富山）反魂丹は、三春の城主（岩代の国）の急病を治癒させたことから、各藩が販売を求め、富山の薬売りのきっかけになったとされる。反魂丹は、黄连、当薬（センブリ）、生姜、牛胆などからなり、苦味辛味健胃薬から成っている。その他日本には、萬金丹、正露丸、陀羅尼助、養命酒、浅田飴、中将湯などの伝統薬があり、これら有名な伝統薬について、構成生薬を系統的に説明した。

一方、日本三大産地である会津の人参は、漢方処方、配合剤や健康食品に配合されている。人参が、江戸初期に幕府が藩財政を回復させるため、各藩に種子を与え、その名を御種と呼び、オタネニンジンと呼ばれるようになった話から人参の生薬学的説明やWHOが報告している効能（抗疲労、精神運動作用、インポテンツ改善など）、乱用により起こる副作用（高血圧、神経質、不眠、閉経前後のエストロゲン様作用）などを解説した。更に、多くの漢方薬に人参が配合されているが、人参は、漢方生薬では、上品に分類され、補気薬とされている。一般に虚証の人に用いる処方（十全大補湯、補中益気湯など）に配合されるので、漢方の歴史や葛根湯を例として、陰陽虚実説を中心にし、証の考えかた、同病



異治、異病同治なども合わせ説明し、人參配  
合漢方処方の適正使用などを解説した。

## 大学図書館連絡協議会総会

7月19日(木)、第24回福島県内大学図書館連  
絡協議会総会が本学を当番校として、12館22  
名が出席し、病院棟会議室で行われた。

この協議会は、県内の11大学・短大と県立  
図書館及び福島高専の13館で組織し、加盟館  
の相互協力により地域社会の進展に寄与する  
ことを目的としている。

今回の総会では、今年度の事業計画や大学  
図書館蔵書の横断検索の実施などについて意  
見交換があった。

また、今年度の企画事業として10月26日(金)  
に郡山地区の協議会加盟館である日大工学  
部、郡山女子大、奥羽大の図書館をバスで見  
学する「大学図書館探検」という企画を実施  
する。

各館ではそれぞれテーマを設定し、所蔵す  
る特色ある資料を展示・紹介し参加者に観覧  
してもらうとともに、各館の日常業務を紹介  
する。

(小林 克也)



## 私が薦める一冊の本

### 『信長の棺』

(加藤 廣 著、日本経済新聞社)

司馬遼太郎、人情ものの山本周五郎、江戸  
グルメの池波正太郎などの歴史小説をよく読  
む。今回のお薦めは2年前に発刊された「信  
長の棺」。著者の加藤廣氏はこれが処女作で、  
なんと75歳のデビュー。金融関係の仕事を長  
年されていたエコノミストである。小泉前首  
相の愛読書宣言も飛び出し、昨秋、松本幸四  
郎主演でテレビドラマにもなった、ベストセ  
ラーものである。

織田信長は明智光秀の謀反により天正10年  
本能寺の変で最期をとげる。私たちがテレビ  
や映画、本で見たり読んだりした本能寺の変  
は、明智軍に本能寺を包囲された信長は、逃  
げることは叶わないと、森蘭丸他のわずかな  
手勢で最後の反撃を行った後、遺骸が光秀に  
わたらないように、自ら火を放ち死んでい  
く。そして、光秀軍は信長の遺骸を何日も探  
すが、とうとう発見できないというものであ  
る。

『信長の棺』では、後に『信長公記』を著し  
た太田信定(太田牛一)を主人公に据え、こ  
の牛一が、本能寺の変で消えた信長の遺骸は  
どこにどう消えたのかを追っていくミステ  
リーで、謎解きとしてなかなか面白くてきて  
いる。

著者は、秀吉、清玉上人(信長の異母弟)  
らの時間軸と動線から解明を進める。本能寺  
からは近くの寺に抜け穴があった。その抜け  
穴を掘ったのが秀吉であり、明智の謀反を掴  
んだ秀吉が細工を命じ、逃げ道を塞いだので  
信長は横死した。牛一は、清玉上人に問う。  
「ならば、信長公はご存命か…、いずこに?」。  
清玉は答える、「遺骸は、私が、本能寺の地  
下道より持ち帰り、秘密裡に埋葬した」と。

備中高松城を包囲していた秀吉は、信長の  
死の情報をいち早く入手し、急遽、毛利との  
和平を取りまとめ、10日後には山崎の戦いで  
光秀を破った。後世の研究を経た今日にも、

秀吉こそが本能寺の変の黒幕だとする意見も多いというが、秀吉の「中国返し」はあまりにも速すぎないだろうか。

(曾根 孝範)

## 余 滴

### 歯科用インプラント考

#### 一曲折的プラークコントロールのすすめ

インプラント治療の患者さんに接するなかで、最近、感じていることが2つある。1つは患者さんからインプラント治療の有効性を教えられたことである。もし私が不幸にして歯を失い、そしてそのための環境が整っていれば、迷わずインプラント治療を希望するであろう。

もう1つは、インプラント治療を受けた患者さんの多くが口腔ケアに熱心なことである。術前からの口腔衛生指導に加えて、治療に伴うさまざまな苦勞を経験し、口腔内への関心が高くなるのもうなずけるが、それにも増して天然歯を守ることについての自発的、能動的なモチベーションによるのではないかと考えている。往々にして何ごととも失って初めてありがたみが身にしみるものであるが、歯もその一つといえる。従来の治療法では、歯を失ったことに対しては後悔の念や哀惜を伴う、いわばマイナスを避けたいという感情からの動機づけになるが、インプラント治療によって天然歯に近い状態に回復することで天然歯の大切さや素晴らしさを患者さん自身が納得することになり、口腔内環境を維持することに対していわば陽性のモチベーションを獲得すると思われる。またインプラントという尺度ができたことから、下世話ではあるが分かりやすい説明として「あなたのお口の中には数百万円の財産があるんですよ。大事にしましょうね」ということにもなる。患者さんに対する説明のなかで、近頃しばしば私が使うフレーズである。

さあ、今夜もしっかり財宝を磨いてから寝ることにしよう。

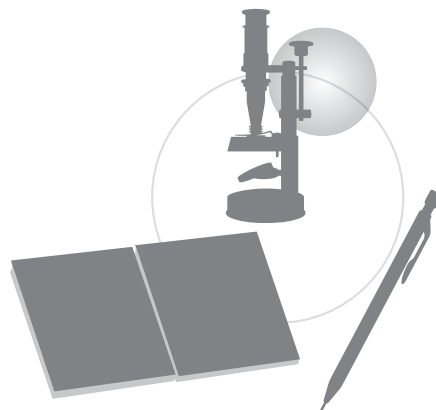
(山森 徹雄)

## 同 窓 会

### 国際誌の表紙に掲載

歯学部第18期（1995年）卒業の天野カオリさんの学術論文が本年8月発行の Journal of Dental Research 第86巻8号に掲載されると共に論文の中の顕微鏡写真が表紙を飾った。Journal of Dental Research は、歯科医学領域で国際的な評価の高い権威ある学術雑誌である。天野さんは本学を卒業後、大学院に進学して博士号を取得、口腔解剖学講座の助手を経て米国ジョージア医科大学に留学した。留学中も解剖学の研究を引き続いておこなっていたが、2005年に帰国し、現在は杏林大学医学部解剖学教室の助教をしている。今回の研究は、細胞の損傷に対する修復メカニズムを最先端のテクニックを用いて明らかにしたものである。すでに本論文は、国際歯科研究学会の今年度の優秀論文賞にノミネートされている。見事に優秀論文賞の栄冠を勝ち取ることを心から期待したい。

(清浦 有祐)



## 歯学部同窓会

奥羽大学歯学部（旧東北歯科大学）を昭和56年4期卒業の鈴木啓視です。

同窓の皆様におかれましては、お元気でご活躍のことと思います。前福島県支部支部長渡辺明比古先生より私が引継ぎ平成16年4月に支部長に就任いたしました。4年目に入りました。私共は、地理的に奥羽大学のおひざもとにあり、現在では会員318名を数えるに至っており、福島県歯科医師会ならびに、各地域歯科医師会において多くの同窓の先生が活躍しておりますので御報告致します。福島県歯科医師会副会長を務めます大桶志延先生を始め、常務理事で会計担当の中山誠秀先生と同常務理事で広報担当である古田倫郎先生、また、代議員として39名中9名の同窓の先生方がおります。各地域の歯科医師会では、白河歯科医師会会長をされている円谷秀海先生と相馬歯科医師会会長をされている梶田浩二先生が地域のため頑張っております。他に各地域歯科医師会で13名の同窓の先生が副会長として活躍しております。

さて福島県支部同窓会は1980年2月17日円谷先生が発起人となり発足しました。初代支部長佐藤健一会員（1期卒）、第2代支部長が大桶志延会員（1期卒）、第3代支部長円谷秀海会員（1期卒）、第4代支部長が10年間の長期に渡り遂行された渡辺明比古会員（1期卒）、第5代支部長を現在私が拝命しております。同窓会活動と致しましては毎年6月に総会及び講演会を行っております。また、翌日にはゴルフ大会が開催されます。12月には忘年会と講演会の活動をしており、今年度は講演会に宮城罔泰福島県歯科医師会会長をお迎えし、時局講演会の開催を予定しております。

最後になりますが、同窓会活動は会員の先生方お一人お一人が活動に参加していただく事で活性化されるものと思っております。先生方どうしの和を大切に今後とも福島県支部同窓会を盛り上げて頂きたいと思っております。

（福島県支部支部長 鈴木 啓視）

## 同窓生のひろば



村上 哲  
（歯学部14期生）

北上市の佐藤聡先生より電話にて“同窓生のひろば”の原稿の依頼が8月中旬にありました。ここ数年、年齢的に地区の歯科医師会の理事になってしまったり、PTAの役員になってしまったり、子供会の役員になってしまったり、スポ少の役員になってしまったりで、忙しいふりをして暫く総会・忘年会など同窓会の集まりに出席していない後ろめたさからOKをしてしまいました。

岩手県では県歯科医師会の主催で地区対抗の親善野球大会が毎年行われています。県内の地区歯科医師会が順番で大会の運営にあたり、土・日の2日間で戦われます。土曜日の夜は懇親会になっていて、土曜日に負けてしまったチーム（地区）は懇親会で大いに盛り上がり、逆に勝ってしまった（？）チーム（地区）は懇親会をおとなしく過ごし明日の試合に備えるという不思議な光景が毎年見られます。その野球大会に多くの同窓の先生方も参加されていて毎年何人かの先生には「先生とは野球大会でしか会えないねえ〜」とか「本当に久しぶり!!」と声をかけられ、今年こそ同窓会に出席しようと毎年思うのですが、出席しようとしている時に限って他の用事が入ってしまったりしてしまいます。出席の悪い自分が言うのも変ですが、これから岩手に戻ってくる同窓生は是非、同窓会に出席してください。同窓の先生の歯科医師会会員数も増え岩手医科大学歯学部次ぐ多さとなり心強い限りです。

話は変わりますが数日前ここ一関市も台風9号の影響で強い風と雨でした。強い雨と風の台風でいつも思い出すのが医院の開院日を2週間後に控えた5年前の時のことです。そのときの台風も今度の台風のように直撃で大変でした。自宅から診療室までの幹線道路が北上川



の氾濫で冠水してる2日間まったく通ることが出来ずに随分と遠回りをして普段の三倍もの時間をかけて診療室に通いました。今年はそこまでの被害はありませんでしたが一関舞川の遊水地の全域が冠水し、その他の遊水地にも越流しました。昔から平泉より以南の北上川ではたびたび氾濫の被害があったようです。同窓の先生方に今度の台風の被害が無ければ良いなあ思っているところです。



早坂 裕

(仏文科9期生)

現在、私はフランス料理のレストランに勤務しています。突然ですが、みなさんは「料理」と聞いて何を連想しますか。私はいつも単純に私自身が好きなものが頭に浮かびます。料理に携わる前までの私は「おいしい物が食べたい」という、その程度の気持ちしかありませんでした。今は料理を提供する立場となって、食べることの喜びをより一層深めるとともに、おいしい料理を提供することは人を幸せにする世界共通のコミュニケーションだと考えるようになりました。

今年、私は30歳にして初めてフランス修業に行きます。人よりは遅く渡仏するわけですが、それは、わけが分らぬままにフランスで一から働くよりも、料理の技術を少しでも高め、フランス語の力も十分身につけてから行こうと思ったからです。

渡仏したからといって、必ずしも将来成功するわけではないと考えています。それでも私が渡仏する理由の1つには、その国の文化を学び、その国でしか学べない思い出に残る料理を作りたいという思いからです。また、現地に行かなくては知ることができないフランス人の“*esprit*”<sup>エスプリ</sup>を肌で感じたかったからでもあります。フランス人の考え方や、フランス人がどのような生活をしているのかを学ぶことによって、日本では体験できないものをインプットして帰ってきたいと思っています。

将来は独立して店を出すよりも、若手育成に力を注ぎたいと考えています。私自身も一生勉強の身ですが、これからの若手に私が学んできたことを教え、想像力を持つことができ、お客様の思い出に残る料理を提供し、お客様を幸せな気持ちにさせることができる若手を育てあげることが私のこれからの目標です。



## 学校法人晴川学舎 平成18年度決算報告

## 事業の概要

## 〈教育研究について〉

## ・歯学部

1. 歯学教育モデル・コア・カリキュラムを基盤とした、本学カリキュラムによる教育を推進した。
2. 特に4年次に模擬 CBT と模擬 OSCE を実施し、5年次にシミュレーション実習や参加型臨床実習を行い、症例検討実習、臨床セミナーを実施した。
3. 情報公開については、学生による授業評価と教員による授業の自己点検・自己評価報告書を作成し、助手以上の教員に配付した。

## ・大学院研究科

1. 社会人特別選抜制度を導入し、カリキュラムを整備して社会人選抜入学者6人を獲得した。
2. 査読制度のある「専門雑誌」に論文を投稿し、2編の学位論文が専門雑誌に掲載された。
3. FD 活動として大学院教員を対象に研修セミナーを2回開催した。また、大学院生に対するアンケート調査を実施した。

## ・薬学部

1. 薬学部設置認可条件に従い、実習は第1学年に1科目、第2学年に6科目を、また、講義科目は全て年次計画通り実施した。
2. 教育職員は全て揃い、教育研究設備は認可申請時の計画通り整備した。
3. 教員の資質の向上に向け、東北地区認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップと薬学教育者ワークショップに10人参加した他、タスクフォースとして3人派遣した。

## ・文学部

1. 平成19年3月9日に英語英文学科15人、フランス語フランス文学科1人、日本語日本文学科29人、合計45人の在学生全てが卒業し学部廃止の手続きをした。

## ・附属病院

1. 歯科医師臨床研修については環境整備に取り組み臨床研修を実施した。
2. マイクロ CT 撮影装置等の設置と診療予約システムの運用により病院機能の充実を図った。
3. 地域における病院連携を促進するため、病院専用のホームページを開設した。

## 〈管理運営について〉

1. 財務情報の公開
2. 自己点検・自己評価の公表
3. 施設・設備の充実

1号館には、車椅子利用者のためのエレベーターと多目的トイレの設置工事を行い、平成19年1月29日に完了した。5号館と中央棟の玄関入り口にはスロープ工事を施したほか多目的トイレ等の設置工事を行い、平成19年3月28日に完了した。なお、本学の教育環境をより充足するため建設中の第3講義棟は平成19年5月に完成予定である。

設備については、歯学部学内に LAN を設置し薬学部の3ヵ年計画による磁気共鳴装置や高分解能二重収束質量分析計等を含む556点の機器備品等は予定通り配備した。

## 決算の概要

## ①消費収支計算書

消費収支計算書は、平成18年度の消費収入と消費支出を示し、経営状況を表しております。

予算と決算を対比して、消費収入の部の学生生徒等納付金、寄付金、補助金、資産運用収入、雑収入の決算額は予算額を45,043千円上回りました。しかし、検定料を含む手数料は薬学部入学志願者の減少により10,223千円減収し、事業収入は5,194千円減収しました。

これらにより、帰属収入合計は、決算額が予算額より29,626千円上回りました。

基本金組入額は、平成19年度竣工予定の第3講義棟建設工事、薬学部設置3ヵ年計画の教育研究用設備などを整備して885,489千円の組入をしました。

消費支出の部の人件費は220,986千円、教育研究経費は114,324千円、管理経費は125,847千円決算額が予算額を下回りました。

以上の結果、当年度は643,395千円の支出超過となりました。

## 消費収支計算書

平成18年4月1日から19年3月31日まで (単位：千円)

科 目	予算額	決算額	差 異	構成比率	
消費収入の部	学生生徒等納付金	3,768,980	3,773,526	△4,546	73.78%
	手数料	54,878	44,655	10,223	0.87%
	寄付金	4,300	12,094	△7,794	0.24%
	補助金	477,345	480,240	△2,895	9.39%
	資産運用収入	109,768	117,049	△7,281	2.29%
	事業収入	538,114	532,920	5,194	10.42%
	雑収入	131,592	154,119	△22,527	3.01%
帰属収入合計	5,084,977	5,114,603	△29,626	100.00%	
基本金組入額合計	1,935,593	885,489	△1,050,104	17.31%	
消費収入の部合計	3,149,384	4,229,114	△1,079,730	82.69%	
消費支出の部	人件費	3,132,944	2,911,958	220,986	56.93%
	教育研究経費	1,658,599	1,544,275	114,324	30.19%
	管理経費	535,170	409,323	125,847	8.00%
	資産処分差額	4,482	4,482	0	0.09%
	徴収不能額	2,471	2,471	0	0.05%
	予備費	43,047		43,047	
	消費支出の部合計	5,376,713	4,872,509	504,204	95.26%
当年度消費支出超過額	2,227,329	643,395			

## ② 資金収支計算書

## 資金収支計算書

平成18年4月1日から19年3月31日まで (単位：千円)

資金収支計算書は、毎会計年度の諸活動に対応する収支（資金の動き）の内容を表したもので、消費収支計算書と重複するものについては説明を省きます。

収入の部の前受金収入は、平成19年度入学生の授業料等収入で、薬学部の入学生が定員200人に対し86人に減少し、284,220千円減収となりました。

その他の収入と資金収入調整勘定は、未収入金や前期末前受金等の前年度と今年度の動きを表したものです。

支出の部で教育研究費と管理経費が消費収支計算書と金額で相違しているのは、資金収支計算から減価償却額が除かれているからです。

施設関係支出では、平成19年度完成予定の第3講義棟や1号館エレベーター設置工事など701,204千円執行し、設備関係支出では、核磁気共鳴装置や高分解能二重収束質量分析計など556点と図書3,281冊を整備して656,498千円を執行しました。

資産運用支出は消費支出準備金引当特定預金に繰入れしたもので、その他の支出と資金支出調整勘定は未払金や前払金等の前年度と今年度分の資金の動きを表したものです。

以上の結果、次年度繰越支払資金は、予算額より1,122,435千円上回り4,760,226千円となりました。

科 目	予算額	決算額	差 異	執行比率	
収入の部	学生生徒等納付金収入	3,768,980	3,773,526	△4,546	100.12%
	手数料収入	54,878	44,655	10,223	81.37%
	寄付金収入	2,000	5,930	△3,930	296.50%
	補助金収入	477,345	480,240	△2,895	100.61%
	資産運用収入	109,768	117,049	△7,281	106.63%
	事業収入	538,114	532,920	5,194	99.03%
	雑収入	131,592	154,119	△22,527	117.12%
	前受金収入	1,430,000	1,145,780	284,220	80.12%
	その他の収入	1,850,787	1,933,906	△83,119	104.49%
	資金収入調整勘定	△2,086,604	△2,166,586	79,982	103.83%
前年度繰越支払資金	6,136,729	6,136,729	0		
収入の部合計	12,413,589	12,158,268	255,321	97.94%	
支出の部	人件費支出	3,151,449	2,927,919	223,530	92.91%
	教育研究費支出	1,076,659	1,002,858	73,801	93.15%
	管理経費支出	444,141	320,079	124,062	72.07%
	施設関係支出	1,126,600	701,204	425,396	62.24%
	設備関係支出	935,580	656,498	279,082	70.17%
	資産運用支出	1,700,000	1,700,000	0	100.00%
	その他の支出	207,399	319,059	△111,660	153.84%
	予備費	300,000		300,000	-
	資金支出調整勘定	△166,030	△229,575	63,545	
	次年度繰越支払資金	3,637,791	4,760,226	△1,122,435	
支出の部合計	12,413,589	12,158,268	255,321	97.94%	



③ 貸借対照表

貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位：百万円)

貸借対照表は消費収支計算書と関連するもので、資産及び負債並びに正味財産の状態など財政状態を表したものです。

土地等の固定資産については、資金収支計算書で説明しましたので省きます。

その他の固定資産は、退職給与引当特定預金や減価償却引当特定資産等の引当資産19,749百万円を充当し備えています。

流動資産は、現金預金等の資金5,105百万円を保有し、学納金等の前受金を含む流動負債1,436百万円の約3倍を確保しております。

また、借入金はなく財政は安定しております。

科 目		本年度末	前年度末	増減	構成比率
資 産 の 部	有形固定資産	(13,904)	(13,174)	(730)	(35.77%)
	土地	1,613	1,613	0	4.15%
	建物	7,399	7,664	△265	19.04%
	教育研究用機器備品	1,835	1,543	292	4.72%
	図書	1,927	1,876	51	4.96%
	その他	1,130	478	652	2.91%
	その他の固定資産	(19,858)	(19,904)	(△46)	(51.09%)
	退職給与引当特定預金	1,249	1,293	△44	3.21%
	減価償却引当特定資産	7,300	7,300	0	18.78%
	消費支出準備金特定資産	10,200	10,200	0	26.24%
	診療用機器引当特定預金	500	500	0	1.29%
	第3号基本金引当資産	500	500	0	1.29%
	その他の固定資産	109	111	△2	0.28%
	流動資産	(5,105)	(6,292)	(△1,187)	(13.13%)
	現金預金	4,760	6,137	△1,377	12.25%
未収入金	208	70	138	0.53%	
前払金	117	63	54	0.30%	
その他	20	22	△2	0.05%	
資産の部合計		38,867	39,370	△503	100.00%
負 債 の 部	固定負債	(1,281)	(1,297)	(△16)	(3.30%)
	退職給与引当金	1,281	1,297	△16	3.30%
	流動負債	(1,436)	(2,165)	(△729)	(3.69%)
	未払金	179	135	44	0.46%
	前受金	1,146	1,957	△811	2.95%
預り金	111	73	38	0.29%	
負債の部合計		2,717	3,462	△745	6.99%
基本金の部合計		24,101	23,215	886	62.01%
消費収支差額の部合計		12,049	12,693	△644	31.00%
負債の部、基本金の部、及び消費収支差額の部合計		38,867	39,370	△503	100.00%

## 郡山自転車ロマン紀行（連載）

### 〈第3回〉

#### 東北自然歩道（新奥の細道）

郡山周辺の山林歩道を走っていると、「東北自然歩道（新奥の細道）」と記された標識と案内板にでくわすことがある。新奥の細道とはカッコ書きになっているが、粋な名称を付けたものだ。芭蕉の旅心に倣って歩いてみたら如何、というわけだろう。

奥羽大学前の296号線を喜久田方面へ北上し、五百川に架かる輪ヶ淵橋を渡り、磐越自動車道の下をくぐり入矢沢を超えると、右折する一本道がある。この辺りはもう東北自然歩道に入っている。石ころだらけの山道。たまたま出会った農家の老人に声をかけると「この辺はタヌキやハクビシンが出て畑を荒らして困るわ」という。ハクビシン？後日図書館で調べて納得。ジャコウネコ科の動物である。

本宮市の蛇の鼻遊楽園から入る道もあり、この道と合流する。途中に岩井の清水がある。源義家が弓の矢で岩を突ついたところ、そこから清水が湧き出たという伝説があり、名水として京の人々にも知れ渡っていたとか。歌にも詠まれている。

合流地点から下る辺りの木洩れ陽が、森のシンフォニーを奏でている。

ペット霊園を下ると一ツ池がある。神秘的な湖。さらに下ると熊田養鯉場にもなってい

る大池がある。抱付観音はこの近くだ。役の行者が開いたというこの観音の縁起が案内板に書かれてある。急な細い石段を15分ほど登りつめると、確かに、大岩を抱いている抱付観音のお堂がある。山の中ではあるが、山奥ではない。

このコースは本宮の岩根を起点として、大玉村午房内を終点とする12.5kmの自然歩道だ。大名倉山を越えて安達太良の里を訪ねる道というのがテーマであるらしい。

熱海町上伊豆島から逢瀬公園へとつながる長沼喜久田線の途中に、夏出<sup>なついで</sup>というところがある。この近くにある堂尻池に架かる橋上から眺める額取山（安積山）は、湖面に映る山稜のシルエットが加わって、額縁の名画をみているようで美しい。この夏出－額取山－御霊櫃峠<sup>ごれいびつとうげ</sup>－三森峠<sup>さんもりとうげ</sup>というコースも自然歩道になっている。ただし御霊櫃峠－三森峠間は県道が廃道になったために通行はできない。

私は熱海町の方面から夏出に来て、ついだという思いつきで額取山に登ったことがある。自転車は滝登山口まで入れる。頂上に着いたのが午前9時。下から吹き上げてくる霧の流れが速く、地底から原始の叫び声が聞こえてくるようだ。見えるはずの猪苗代湖は見えない。

前回このコラムで紹介した宇津峰山も、東北自然歩道のひとつになっている。起点は須賀川市一斗、終点は郡山市鈴ヶ内の6.7km。



抱付観音



夏出の「東北自然歩道」案内板

環境庁・福島県のホームページによると、東北自然歩道は環境庁が1990～96年に設定、福島県白河市旗宿を起点とし、青森まで行き、折り返して郡山市を终点とする230のコースと連絡コースから成り、福島県内には26のコースがあるという。

豊かな自然や歴史・文化にふれ、自然保護にたいする意識を高めることにもねらいがあるようだ。これからはハイキングの季節。紅葉もいい。楽しんで歩いてみたら如何だろう。

(図書館長 安藤 勝)

## 慶弔

### <訃報>

謹んでお悔やみ申し上げます。

- 看護部 田代 美和  
祖父 田代 正三 殿 (84歳) 8月7日
- 学事部 谷代 尚人  
義母 久我 光子 殿 (76歳) 8月21日
- 歯学部 松村 奈美  
祖母 中條 ちい 殿 (92歳) 9月4日
- 歯学部 丸井 隆之  
義母 重松キミ子 殿 (91歳) 9月10日

### <委員会からのお詫びと訂正>

前号(114号)3P「献体者合同慰霊式」14～16行目に表記の間違がありました。

誤 - 新井 泰幸 君  
正 - 伊藤 悠 君

誤 - 石川 昌宏 君  
正 - 石川 昌 君

誤 - 入江 亜希 さん  
正 - 市川千絵子 さん

謹んで、お詫び申し上げ、訂正させていただきます。





## 行事予定

平成19年

10  
月

October

- 13(土)・14(日) 奥羽祭  
 13(土) ㊦保護者懇談会  
 ㊦共済基金委員会  
 公開講座  
 14(日) オープンキャンパス  
 19(金) ㊦キャリアガイダンス  
 (1年)  
 27(土) ㊦大学院Ⅱ期入学  
 試験

11  
月

November

- 1(木)～9(金)  
 ㊦㊦推薦入学試験  
 出願期間  
 1(木)～12/7(金)  
 ㊦学位論文申請  
 5(月)・6(火)  
 ㊦企業人事担当者  
 との懇談会(3年)  
 11(日) ㊦㊦推薦入学試験  
 13(火) ㊦㊦推薦入学試験  
 合格発表  
 28(水) ㊦大学院学位記授  
 与式

12  
月

December

- 12(水) ㊦日本学生支援  
 機構返還説明会  
 14(金) ㊦臨床総合講義終了  
 (6年)  
 16(日) 創立記念日  
 17(月)・18(火)  
 ㊦第1回卒業試験  
 21(金) ㊦キャリアガイダンス  
 (2年)  
 23(日)～1/6(日)  
 ㊦冬季休業(5年)  
 25(火)～1/6(日)  
 ㊦冬季休業  
 26(水)～1/6(日)  
 ㊦冬季休業(1～4年)

## &lt;委員会からのお知らせ&gt;

本学報は、同窓生と在学生の保護者あてに送付しております。転居・住居表示の変更の場合は下記までご連絡くださるようお願いいたします。その際、お手数でも宛名シールの番号をご記入いただければ幸いです。なお、皆様からのご意見・ご感想をお寄せ下さい。

連絡先／奥羽大学 総務部 広報担当

奥羽大学報115号(通算No.240)平成19年9月15日発行

発行 奥羽大学  
 学報編集委員会  
 委員長 清水秋雄

☎963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1  
 電話 024(932)8931(代) FAX 024(933)7372  
 ホームページアドレス <http://www.ohu-u.ac.jp>  
 メールアドレス [info@ohu-u.ac.jp](mailto:info@ohu-u.ac.jp)